

令和2年国勢調査 町丁・字等境界データ データベース定義書

ファイル名【r2kaxx.dbf】（xxは都道府県番号）

No.	フィールド名	項目内容	備 考
1	KEY_CODE	図形と集計データのリンクコード	PREF+KEYCODE2
2	PREF	都道府県番号	
3	CITY	市区町村番号	
4	S_AREA	町丁・字等番号	KIHON1+KIHON2
5	PREF_NAME	都道府県名	1)
6	CITY_NAME	市区町村名	1)
7	S_NAME	町丁・字等名称	1)
8	KIGO_E	特殊記号E（町丁・字等重複フラグ）	2)
9	HCODE	分類コード	3)
10	AREA	面積（㎡）	
11	PERIMETER	周辺長（m）	
12	R2KAxx	内部ID	
13	R2KAxx_ID	外部ID	
14	KIHON1	町字コード	町丁・字等番号 "-"（ハイフン）
15	DUMMY1	ダミー	
16	KIHON2	丁目、字などの番号	
17	KEYCODE1	マッチング番号	CITY+KIHON1+KIHON2
18	KEYCODE2	町丁・字等別結果マッチング番号	
19	AREA_MAX_F	面積最大フラグ	4)
20	KIGO_D	特殊記号D（飛び地、抜け地フラグ）	5)
21	N_KEN	抜け地都道府県番号	
22	N_CITY	抜け地市区町村番号	
23	KIGO_I	特殊記号I（島フラグ）	6)
24	KBSUM	基本単位区（調査区）数	7)
25	JINKO	人口	KIGO_Eが「En」（ $n \geq 2$ ）の場合は0（ゼロ）
26	SETAI	世帯数	KIGO_Eが「En」（ $n \geq 2$ ）の場合は0（ゼロ）
27	X_CODE	図形中心点X座標（10進経度）	
28	Y_CODE	図形中心点Y座標（10進緯度）	
29	KCODE1	町丁・字等番号	KIHON1～KIHON2

- 1) 文字コード：シフトJIS。左詰め。
- 2) 特殊記号E
「En」（ $n \geq 1$ ）：一つの市区町村内に同一の町丁・字等番号を持つ境界が複数存在した場合、原則として、境界ごとに足し上げた基本単位区（調査区）の人口が多い順にE1から付与。足し上げた基本単位区（調査区）の人口が同じ境界が複数ある場合は、面積の広い順に付与。
ただし、島と島以外（以下「陸地」という。）がある場合は、陸地部分を優先して付与。
- 3) 分類コード（HCODE）
「8101」：町丁・字等
「8154」：水面調査区
- 4) 面積最大フラグ（AREA_MAX_F）
「M」：一つの市区町村内に同一の町丁・字等番号を持つ境界が複数個存在した場合、一番広い面積を持つ境界に付与。
又は、同一の町丁・字等番号を持つ境界がない場合に付与。
- 5) 特殊記号D
「D」：飛び地
「D1」：抜け地（飛び地）
- 6) 特殊記号I
「I」：島
- 7) 当該町丁・字等の中の基本単位区（調査区）の数。（1対1の場合は1）。KIGO_Eが付与されている場合は、E1に代表してセットし、En（ $n \geq 2$ ）は0（ゼロ）。

※ 属性情報については、JGD2000の値。
※ 平面直角座標で複数の系にまたがる次の4都道県は、それぞれ、北海道は12系、東京都は9系、鹿児島県は2系、沖縄県は15系としている。